



雪氷化学分科会 2012 年「雪合宿」報告

雪氷化学分科会では、年間事業のひとつとして「雪合宿」を開催している。2001 年に始まった雪合宿は、これまでに全国各地で開催されており、今回で 11 回目となる。今回は、2001 年に第 1 回の雪合宿を行った乗鞍高原で、あらためて中部山岳地域の雪を観測することを目的として行った。

開催日時：2012 年 2 月 21 日～23 日

開催場所：乗鞍高原および上高地（長野県松本市）

参加人数：20 名

1. 集合

集合場所である信州大学乗鞍寮に、集合時間の 2 月 21 日 16 時半には全国から参加者が到着した。今回の宿泊施設である乗鞍寮は自炊の施設であるため、二班に分かれて交代で夕食の準備をしながら温泉も楽しんだ。別の調査のため遅れていた 2 名も合流し、夕食までには全員が集合した。今回の参加者は、半数が学生であり、「雪合宿」に初参加という人も多く、夕食時に自己紹介を行った。食事の際に欠かすことのできない飲み物は、当地の物と参加者が全国から持ち寄った物が豊富にあり、風呂上がりの体を潤すには十分な量を各自のペースで楽しんだ。



図 1 集合写真（撮影：佐々木明彦氏（信州大学））

2. 講演会（1 日目の夜）

夕食後には、理化学研究所の望月優子さんに、「雪や氷の成分は宇宙のどこで、いつ生まれたのか?」というタイトルで講義をして頂いた。DVD を交えての講義では、雪（水）を構成する水素原子と酸素原子の宇宙での誕生についての説明を丁寧にしていただいた。

その後は、宿泊施設の一室で夜遅くまで懇親を深めた。ごく一部ではあるが、夜の部を満喫し過ぎ、翌朝には前夜の行動を記憶していない者もいたが、これにより参加者同士が心から打ち解ける事ができた。

3. 積雪断面観測実習（2 日目の昼）

乗鞍高原は、朝から雲に覆われており、乗鞍岳を望むことさえできなかった。また、今年は乗鞍高原周辺の積雪量が少なく、観測実習を行うにはあまりにも寂しいと幹事役の筆者は感じていた。そこで、事前調査で乗鞍高原よりも積雪量が多い事が分かっていた上高地で観測実習を行うことに変更した。上高地へは、信州大学の学用車 3 台に分乗して移動した。乗鞍高原では天気を心配していたが、上高地へ繋がる釜トンネルを抜けた瞬間にその心配は消えた。上高地は雲一つ無い晴天で我々を迎えてくれ、雪を抱いた穂高連峰や焼岳は青空をバックに映えていた。参加者の多くが美しい景色にカメラを向けていた。

積雪断面観測では、全員で幅約 5m、深さ 102 cm の積雪断面を作成した。河島克久さん（新潟大学）らによって、それぞれの観測方法の極意が披露された。その後、雪温測定、密度観測、層位観察を参加者が交代しながら行った。その傍らでは、北海道大学の的場澄人さんらが、ダブルピットを作成し、光を透過しての層位観察も行った。最後に、参加者が自分たちの持ってきたサンプリング道具を使って、それぞれの研究に必要なサン



図 2 積雪断面観測の様子 (撮影: 佐々木明彦氏 (信州大学))

ブルを採取し、上高地での観測実習を終了した。

観測後に、乗鞍寮に戻り昼食をとった。固めに炊きあがった芯の残るご飯は、前日に作っておいたカレーに良く合い、美味しい昼食としていただいた。

昼食後は自由時間として、現場で観測したデータの整理を行ったり、乗鞍高原の自然を満喫したり各自の時間を楽しんだ。

4. スライドショー (2 日目の夜)

2 日目の夜から参加された宮崎伸夫さん (クライメットエンジニアリング) の自己紹介が、夕食の時間を通して行われた。夕食後には、東久美子

さん (国立極地研究所) に、グリーンランド NEEM における観測について、石井吉之さん (北海道大学) にはインドネシアの水文観測について、それぞれスライドを交えながらお話を頂いた。

この日も、前日と同様に遅くまで議論が続いた。

5. 総評

最終日は、朝から雨が降っており、宿泊施設の掃除を行い午前中に解散となった。例年になく乗鞍高原周辺の雪が少ないことを心配していたが、観測場所を上高地に変更したことで、観測講習を行うためには十分な積雪深があった。積雪断面観測を初めて行う参加者も多かったが、積雪断面観測方法を取得するという「雪合宿」の目的は、達することができたと思う。

夜の懇親会などでは、次回の候補地も話題に出ており、知床、十日町、韓国…などの地名があがっていた。今後もさらに充実した「雪合宿」となるよう、皆様のご意見やご提案を頂けたらと思います。

これまでの「雪合宿」の様子や写真は、雪氷化学分科会のホームページに掲載されています。
(<http://www.seppyo.org/~chemistry>)

(信州大学山岳科学総合研究所 倉元隆之)

(2012 年 7 月 25 日受付)